

令和3年

健康福祉委員会

2月24日

豊明市議会

# 健康福祉委員会会議録

令和3年2月24日

午後1時00分 開会

午後1時19分 閉会

## 1. 出席委員

委員長	郷右近 修	副委員長	いとう ひろし
委員	林 ゆきひろ	委員	近藤 ひろひで
委員	三浦 桂司	委員	清水 義昭
委員	一色 美智子		
議長	毛 受明宏		

## 2. 欠席委員

なし

## 3. 職務のため出席した議会事務局職員の職、氏名

議会事務局長	鈴木 美智雄	議事課長	塚谷 友昭
庶務担当係長	山田 恵子	議事担当係長	寺島 慎二

## 4. 説明のため出席した者の職、氏名

市長	小浮 正典	副市長	土屋 正典
健康福祉部長	伊藤 正弘	子育て支援課長	川原 静恵

## 5. 傍聴議員

服部 龍一	堀内 ちほ	中村 めぐみ	ごとう 学
青木 亮	宮本 英彦	鶴飼 貞雄	近藤 郁子
月岡 修一	ふじえ 真理子	近藤 善人	

## 6. 傍聴者

なし

午後1時開会

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） それでは、ただいまから健康福祉委員会を開会いたします。

会議に先立ちまして、市長より挨拶をお願いいたします。

市長。

○市長（小浮正典君） 皆さん、お疲れさまでございます。

本日の健康福祉委員会に付託されました案件は1議案でございます。慎重なる審査をいただきますよう、どうぞよろしくをお願いいたします。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ありがとうございます。

続きまして、議長より挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（毛受明宏議員） 皆様、お疲れさまです。

健康福祉委員会の議案は、一般会計補正予算1件であります。慎重審査よろしくをお願いいたします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ありがとうございます。

これより会議を開きます。

お諮りいたします。市長は自席待機といたしたいが、御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 御異議なしと認めます。よって、市長は退席を願います。

なお、市長におかれましては、答弁を求める機会がある場合には出席をいただきますので、御承知おきをお願いいたします。

（市長退席をなす）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 本日の傍聴については、申合せに従い15名以内とし、委員長において一般傍聴者の入室を許可いたします。

本日の議事につきましては、本委員会に付託されました案件につきまして、お手元に配付されました議題に従い会議を進めてまいります。

当局におかれましては、反問権を行使される場合には意思表示を明確にされ、論点を整理して反問されますようよろしくお願い申し上げます。また、反問を終了する際にも意思表示を明確にされますようお願い申し上げます。

それでは、議案第14号 令和2年度豊明市一般会計補正予算（第19号）についてのうち、

本委員会所管部分についてを議題といたします。

本案件について、理事者の説明を求めます。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） よろしくお願ひいたします。

歳出から御説明いたしますので、補正予算書の7ページ、8ページを御覧ください。

4款1項1目2 保健衛生事業100万円の増額は、コロナ禍の中、長期にわたり市民の命と健康を守っていただいております医療従事者へ、早急に第2回の医療従事者ありがとう応援金をお届けするためです。

続きまして、歳入の御説明をいたしますので、5ページ、6ページを御覧ください。

17款1項1目の一般寄附金、衛生費寄附金778万7,000円は、市民や事業所などから新型コロナウイルス感染症の対策にと御寄附を頂きました一部を、歳出で御説明いたしました医療従事者ありがとう応援金として使わせていただくためです。

続きまして、医療従事者ありがとう寄附金です。

678万7,000円の減額は、ふるさと納税として321万3,000円の寄附を頂き、額が確定したことによる差額を減額するものです。

以上で説明を終わります。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 理事者の説明は終わりました。

これより質疑に入ります。

質疑のある方は挙手を願います。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 では、6ページの歳入のところの衛生費寄附金ですけども、衛生費寄附金を医療従事者ありがとう応援金に充てているということなんですが、寄附の意向が医療従事者に充ててほしいというところに合致しているのかどうかと、意向を把握されているのかどうかということを確認させてください。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 寄附に当たっては、それぞれ項目が指してあるところと全般的にコロナ対策にというところが上がっております。

詳しく申し上げますと、医療従事者だとか、生活困窮だとか外国人の方、特に記名がなく新型コロナウイルス対策全般にというようなお申出がいただいております、その部分をこの事業に充てております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑のある方はいらっしゃいますか。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 その下の医療従事者ありがとう寄附金のところで、678万7,000円減というふうになっていますけども、もともと目標1,000万ということで上がっていたかと思うんですが、届かなかった理由は何か分析されていますか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） そもそもこちらのことにつきましては、豊明市に対しての感染症対策の寄附ということで、ホームページなどで周知を徹底していただいたと思います。

お気持ちがこの金額ということで、1,000万円はあくまでもこれぐらいを見込んでということですので、金額ではなくお気持ちがたくさん届いているというふうに感じております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑のある方は……。

林委員。

○林 ゆきひろ委員 歳出の8ページですけども、医療従事者ありがとう応援金、これ、医師会だったりとか病院にというところですけども、使い道は何か報告は受けているんでしょうか。何か把握されていますか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） こちらの医療従事者応援金につきましては、報償費ということで示しておりますので、それぞれの医院だとかで、感染症の対策だとか慰労金だとかということについては、自主的なことで判断をお願いしております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 歳入の6ページなんですけれども、678万7,000円減ということなんですけども、1,000万に対して678万7,000円減ということは、1,000万からこの額を引いたものがふるさと応援寄附金で頂けたものということなんですか。

続けてになりますけども、個人で特別にふるさと応援寄附金制度を使わずに持ってこられたものは歳入には入っていないという、そういうイメージでよろしいでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） ふるさと納税を活用した医療従事者ありがとう寄附金は、実績として1,000万を予定しておりましたので、321万3,000円が皆様の御厚意として承っております。

その上にあります衛生費寄附金につきまして、今、委員がおっしゃったように、市民や事業所からの寄附金を頂いたものになります。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。

清水委員。

○清水義昭委員 本会議のときに、8月と3月とで応援金を出すというような説明があったと思うんですけども、なぜそれは2回にしたのでしょうか。5月のときにはそういう説明はなかったような記憶があるんですけども。そこをお願いします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 当初もありがとう応援金だとか、一般の皆様からの寄附の集まり次第で第2弾も考えているような回答をしたつもりではいたんですけども、第1回で終わるといようなことは、第1回で終わるかもしれないし、これからの寄附の、皆さんの御厚意によって第2弾、第3弾もいようなことは含ませていただいたと思っております。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

清水委員。

○清水義昭委員 ちょっと待ってください。寄附が集まっていたら第2弾をやるということで、今回は寄附が集まっていないので一財で出すということだと思んですけども、そこら辺の整合性をちょっと説明願います。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） ちょっと答えになるかどうかあれですけど。

まず、1,000万円を5月に構えさせていただいたときには、定額給付金なども今年度はありませんでしたので、いろいろな寄附が集まり始めていたということもあって急遽構えさせていただこうということになりました。

それで、一旦550万円を8月に、寄附を頂いた方々に広く知っていただくために、贈呈式という形を取って、御寄附いただいた方に目に触れるような形でやらせていただきました。

コロナの進展がその時点では全く見通しが、今現在もそうなんですけど、どうなるかということは分かっておりません。おおむね321万3,000円ということが確定してきた一方で、多くの御寄附はふるさと以外のほうで頂いておりますので、このうち医療従事者宛てにということと、医療従事者でなくコロナの対策でお使いくださいという圧倒的な多数の額がございますので、これを延伸して、さらに医療従事者の方々、この間には介護サービス事業所とか障害サービス事業所に対しても給付系のことをさせていただいておりますので、医療のほうにも事業所宛てのものを、これは寄附ということで皆さんの御寄附の希望をお届けしようということで、予算のほうは1,000万円まで構えさせていただいておりますので、この範囲内では少なくとも第2弾以降ができる。2波、3波というこの波の動きをちょっと観察、監視していたというのが正直なところです。

この3月の初めの頃のタイミングというのがよかろうということが、少し見通しが立ってまいりましたので、今回は、市長自ら医療機関のほうを訪ねて回って、いろいろお声かけをしながらお届けしていこうという形になりました。

ということで、無理を言いましてこのタイミングで補正予算ということを計上させていただいたという、これが全体像でございます。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 ごめんなさい。答弁のほうの最初のほうで、寄附がまたたくさん集まってきたので第2弾をやるみたいな感じのイメージだったというふうに、今僕には聞こえませんが。

一般財源に今回振替という、8ページの658万7,000円の中に頂いた寄附も含まれているという、そういうイメージでよろしいでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） すみません、これが非常に、今回分かりにくい予算になっているので、ちょっとだけ御説明させていただいてもよろしいでしょうか。

財源の振替が実は2回起きていまして、一般財源ということなんですけども、先ほど申

し上げたように、550万の2回をやらせていただくと1,100万の歳出が必要になります。でするので、このたび100万円をまず出で増額補正させていただこうという内容にしています。

5月の5号補正のときは、入ともにふるさととありがとう応援金で1,000万ずつでありましたので、このたび100万円増と。入の側からなんですけども、ふるさと応援寄附金が1,000万円に到達しませんでしたので、これについては、どこかで1,000万円までの間で突破することも可能性としてはあったんですけど、仮の上限額というふうでお認めをいただけておりましたので、減額が678万7,000円、今回は減額させていただきます。

ただし、100万円歳出で増額をしておりますので、衛生費寄附金ということで778万7,000円、100万円多い分が振り替わっています。これが入のページにお示ししておりますということです。これが一旦入側の振り替わりが起きております。

一般寄附金でございますので、一般財源というふうに、金の性質としては一般財源になりますので、これは何かの取崩しとかではなく、あくまで寄附金で集まった部分からこれだけのものがありますということで、ふるさとと寄附金が振り替わります。これが入側の振り替わりということです。

そのうち、実は、7ページ、8ページの歳出の側の財源内訳のほうを見ていただきますと、5,587と6,587という振り替わりになっています。

ここで、120万円ずつ入の財源と違いが生じておりますが、ここが一般寄附金である一般財源なんですけども、愛知県競馬組合様から、財政課長の説明がありましたが、120万円の医療従事者に対して使ってほしいという申入れのある寄附金がありました。これを特定寄附扱いして充当をかけましたので、この部分だけ一財などに充当をかけて、入と出の色合いが変わっている、120万ずつさらに変わっている、こういう形で、入側で振り替わり、さらに出の側でも振替が起きましたのでこういう形になっています。一財ということになってはいますが、全額寄附金ということでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 理解できまして、ありがとうございます。

今回は100万円の増額なんですけども、理由について、今度は聞かせてください。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） お認めいただいた金額が1,000万円でした。第1回が550万円、第2回につきましても同額の550万円を予定しておりますので、合わせて1,100万円

になりますので、100万円の増額分をこちらに計上させていただいております。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑は。

清水委員。

○清水義昭委員 ありがとうございます。

次なんですけど、これ、ふるさと応援寄附金が12月の末で多分終わっていると思うんですよ、医療従事者に関するところ。これをまた再開するとかという予定というか、要は財源振替してほかの寄附金から持ってくる以外の方法で、ふるさと納税のほうからやってくるようにするということは考えてはいないのでしょうか。要は届いていないわけですから、最初の1,000万のところ。そういう予定は考えていなかったのでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

伊藤部長。

○健康福祉部長（伊藤正弘君） ふるさと応援寄附金のほうは、一旦年末で締めるという形を取らせていただいておりますので、ここで一旦確定をさせていただきました。

先のことということと言うと、新年度をどうするかという議論はさせていただいてまして、ふるさと応援寄附金の中に、また今回のように、特別に医療従事者向けのものをつくるということは今のところはせずに、ふるさと応援寄附金全体の中に幾つか柱を設けておりますが、その中に入れさせていただこうと。コロナ対策全般を含めてというようなことは、今のところ検討しているというような形でございます。

この後に、引き続きふるさとのほうで1,000万円まで行くようにというふうにするという判断は、年末の時点でしておらないということです。

一方で、たくさんの寄附金の申出をいただいておりますので、要は、ふるさとじゃなくて結構寄附を頂けておりましたので、これを無駄なくいろいろ有効に使わせていただくことが御寄附いただいた方々の御希望ですので、それを優先したというところでございます。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

清水委員。

○清水義昭委員 すみません、最後の確認なんですけれども、今回、一般財源で当たっている658万7,000円というのは、皆さんが納めた市税からではなくていろんなところから頂いた御寄附を充てているという、そういうことでよろしいでしょうか。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁願います。

川原課長。

○子育て支援課長（川原静恵君） 委員のおっしゃるとおりです。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 答弁は終わりました。

ほかに質疑はございますか。ございませんか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） それでは、以上で質疑を終結し、討論に入ります。

討論のある方は挙手を願います。

三浦委員。

○三浦桂司委員 ワクチン接種も始まりますので、医療従事者の人は今以上に大変忙しくなると思います。

コロナの風評被害なので、要は出て、医療関係で働いておられる方も、伏せて働いておられるという人もいるかと聞いております。我々も含めて、市民の安心・安全を守っていただける関係各位に対して、もう少し金額は多くてもいいのかなと思いますけども、困っておられる方も多数おられますので、金額も精査した結果だと思っておりますので、賛成です。

以上です。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに討論は。

近藤ひろひで委員。

○近藤ひろひで委員 賛成の立場で討論いたします。

本当にありがたい貴重な寄附を財源に医療従事者ありがとう応援金ということの増額でありますので、以上の理由で賛成といたします。

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ほかに討論はございませんか。よろしいですか。

（進行の声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 以上で討論を終結し、採決に入ります。

議案第14号のうち、本委員会所管部分については、原案のとおり決することに御異議ございませんか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） 御異議なしと認めます。よって議案第14号のうち、本委員会所管部分については、全会一致により原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、本委員会に付託されました案件の審査は終了をいたします。

お諮りいたします。委員会報告書については私に御一任願いますか。

（異議なしの声あり）

○健康福祉委員長（郷右近 修議員） ありがとうございます。

委員会報告書については例に従い提出をさせていただきます。

慎重な御審査、お疲れさまでした。これにて健康福祉委員会を閉会いたします。

午後 1 時 1 9 分閉会